

令和4年11月定例会の結果

- 1 請願書 2 資料（請願文書表）
-

1 請願書

請願番号	件名	結果
請願第3号	国民健康保険料の引き下げを求める請願	不採択
請願第4号	子どもたちにゆきとどいた教育を求める請願	不採択

2 資料（請願文書表）

請願第3号

国民健康保険料の引き下げを求める請願

請願者 静岡市医療と福祉をよくする会 山田美香
国保料を値下げさせる清水の会 平塚倫豊

署名者数 5,491 名

紹介議員 内田隆典 杉本 護 市川 正

【請願趣旨】

新型コロナウイルス感染症は私たちの命と暮らしを脅かしています。ワクチン接種が進んでいますが大規模なPCR検査をセットで行うことが命を守ります。こんな時だからこそ、10月実施の高齢者の医療費窓口負担2割を中止し、病院のベッドを減らす計画を中止することが必要になっています。

国民健康保険は、無職者、年金生活者、非正規雇用労働者など低所得者が多数加入していますが、その保険料は他の医療保険と比べ、所得に対して高い負担となっています。

保険料の負担軽減、とくに家族人数によって負担が増える「均等割」の減免が必要です。また窓口一部負担金（国保法第44条）減免によってお金の心配なく医療にかかれる制度の拡充が大事になっています。

いま静岡市で行うことは、「国保は社会保障」（国保法第1条）の原点に立って、国と県に公費負担の増額を求めることや高負担に苦しむ市民が暮らしていける国保料にすることです。

つきましては以下の項目について請願いたします。

【請願項目】

高すぎる国民健康保険料を引き下げてください。

請願第4号

子どもたちにゆきとどいた教育を求める請願

請願者 子どもと教育を考える静岡市民会議 代表 大多和 暁 署名者数 6,244名

紹介議員 内田隆典 寺尾 昭 市川 正

【請願趣旨】

子どもたちが人間として大切にされ、憲法と子どもの権利条約が生きて輝く学校をつくるのが保護者・市民の願いです。しかし2月以降世界情勢が変化し、急激な円安と物価高に保護者や市民の生活が圧迫されています。そのため、今年は例年以上に保護者負担の軽減に努めて頂きたいのです。命を最優先にしながら、どの子どもにも学ぶ権利を保障し、ゆきとどいた教育を実現するために以下のことを請願します。

【請願項目】

1. 新型コロナの影響や物価高で経済的にたいへんな家庭が増えているため、保護者負担を減らしてください。
 - ①子育て支援の観点から、給食費を無償にしてください。当面まず半額の補助をしてください。
 - ②学校で備え、共有できる物を大幅に増やし、個人購入物品を減らしてください。
 - ③小・中学生の保護者への就学援助をより丁寧に周知し、さらに認定基準の緩和、支給品目の拡大をしてください。
2. 子ども達の学びの充実のために、教職員を増やしてください。
 - ①小・中・高等学校の全学年で「20人学級」を実現してください。当面、小・中学校の「30人学級」と高等学校の「35人学級」を実現してください。
 - ②教職員の新規採用人数を増やし、学校で必要な教職員の正規化をはかってください。
3. 教育環境・施設を整えてください。
 - ①避難所となる体育館のバリアフリー化とエアコン設置及びトイレの洋式化を進めてください。
 - ②体育館での「密」を避けるため校舎も避難所として使用できるよう、全ての学校建物の100%耐震化と安全対策を進め、老朽化の進んだ学校施設等の建て替えを計画的に進めてください。
 - ③小・中学校プール施設を再点検し、安全にプールでの授業が出来るようにしてください。
 - ④特別教室（音楽室や理科室等）にもエアコン設置を早急を実現してください。
 - ⑤トイレの洋式化を前倒しで計画的に進めてください。
 - ⑥公立図書館が身近にない地域を優先し、専任の学校司書を配置すると共に、新しい本を増やし通いたくなる学校図書館にしてください。
4. 特別支援を必要とする全ての子どもたちに、ゆきとどいた教育を保障してください。
 - ①全ての学校に特別支援学級を設置し、更に増やしてください。

- ②特別支援学級の定数を8人から6人にしてください。
 - ③中学校区ごとに、通級指導教室を設けてください。
 - ④現在の特別支援教育支援員の勤務時間を、せめて子ども達の在校時間まで延長し、更に増員をしてください。
5. 小中一貫教育を一律に進めないでください。
- ①小中一貫教育では、各学校・地域の自主性を尊重し、子どもたちや教職員に過度な負担を増やさないようにしてください。
 - ②小さな学校の良さや地域での伝統を大事にする取組を広げ、中山間地の小学校が存続できるよう子育て世代が居住できる環境整備をとってください。